

## ベトナム 競争関係または連携関係となる医療機関の集客状況(1/2)

今回訪問した医療機関において最も周産期医療の点において総合医療機関として優れていた医療機関はFV hospitalといえる。これは特にベトナムにおける著名人が利用するからだけでなく、総合医療機関として小児科や他科連携ができており、高度急性期医療を十分に供給できる体制が整っていることが挙げられる。またVinmecも民間医療機関として十分な役割を果たしていると言えよう。分娩数は国立であるHanoi National Obstetrics Hospitalが月間3750以上と、民間に比べ10倍以上という件数をこなしている。価格幅は最低価格の50USDから2,000USDと40倍の開きがあることとなる。

# ベトナム 競争関係または連携関係となる医療機関の集客状況(2/2)

	分娩数	分娩サービス	出産前検査	出産前指導	難産対応	小児科及び他科連携	その他
Hanoi National Obstetrics Hospital	3750以上/月	50USD～300USD 国により規定されたパッケージの場合、それにオプションのサービスを付ける	検査としては、胎児の病気の検査や、出産直後の新生児の異常のチェック(聴覚検査など)が行われている。 検査の回数は、出産までの段階を3つに分けて、産前の検査は各段階で受ければ十分だが、ハノイの市民はより多くの検査を受けようとする傾向があり、3～4週間に1回程度検査を受ける。		分娩数のうち8～10%は早産、55%は難しい出産である。		年間1万2,000～5,000人の婦人科の患者がある。子宮外妊娠や、不妊治療などが含まれる。  中絶も2万5,000件程度ある。その中には、二人っ子政策のため3人目を中絶する場合が含まれる。
FV Hospital	100以上/月	約2,000USD	検査のパッケージがあり、800米ドルで提供している。	出産前指導は、理学療法士が呼吸法等を指導している。また、栄養士が栄養に関する指導も行っている。	難産であった場合は、通常の出産よりも高額になる。難産の定義としては、胎児にへその緒がからまっていたり、胎盤剥離が起こった場合等が挙げられる。 抗生剤の治療を行う際には、NICUで看護師が24時間常駐している。母子がともに過ごせるユニットを建設中である。	小児科も非常に強みを持っているため、妊婦は安心して出産することができる。 疾病を有する妊婦でも、内科も併設しているため、安心して出産に臨める体制を築いている。HIVやその他の感染症、循環器疾患を持った妊婦の出産も対応している。	出産にあたっては、参考資料を作成しており、患者に分娩までの過程をしっかりと説明している。
vinmec	10/日、300/月	○32週の出産のみのパッケージは、約1200USD ○12週からの検査有りのパッケージは、約1,700USD 上記の2つのパッケージに加え、帝王切開を2,000USDで行っている	検査内容は、血液検査、超音波診断、染色体検査、糖尿病検査等	授乳指導、マッサージ指導、運動指導、産後のリハビリに関する指導等は、パッケージの一環として、無償で提供している マタニティ体操は、助産師が行っている。上記の1700USDの中に含まれる	多胎妊娠や異常児分娩についても対応		VIPルームは各病棟に2～3部屋、200USD/日 一般病棟は20～30部屋、90USD/日

出所) 現地インタビューよりみずほ情報総研が作成